

企業の子育てにかかわる地域貢献活動についての アンケート調査結果報告書

目次

調査概要	1
アンケート調査結果	2
ヒアリング調査結果	14

調査概要

1 調査の目的

企業の子育てにかかわる地域貢献活動の実施状況を把握し、今後、社会全体で子育て支援を進めていく上で参考資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の設計

【アンケート調査】

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 県内の事業所 377 事業所
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 回収数 145 事業所 (有効回収率 38.5%)
- (5) 有効回収数 144 事業所 (有効回収率 38.2%)
回収票より白票を除いた数
- (6) 調査期間 平成 23 年 1 月 28 日～平成 23 年 2 月 10 日

【ヒアリング調査】

- (1) 調査対象 株式会社スワニー
総合警備保障株式会社 高松支社
株式会社マキタ
四変テック株式会社
有限会社エーワンセキュリティーサービス (調査実施日順)
- (2) 調査方法 対面聞き取り調査
- (3) 調査期間 平成 23 年 3 月 10 日～平成 23 年 3 月 23 日

3 報告書の見方

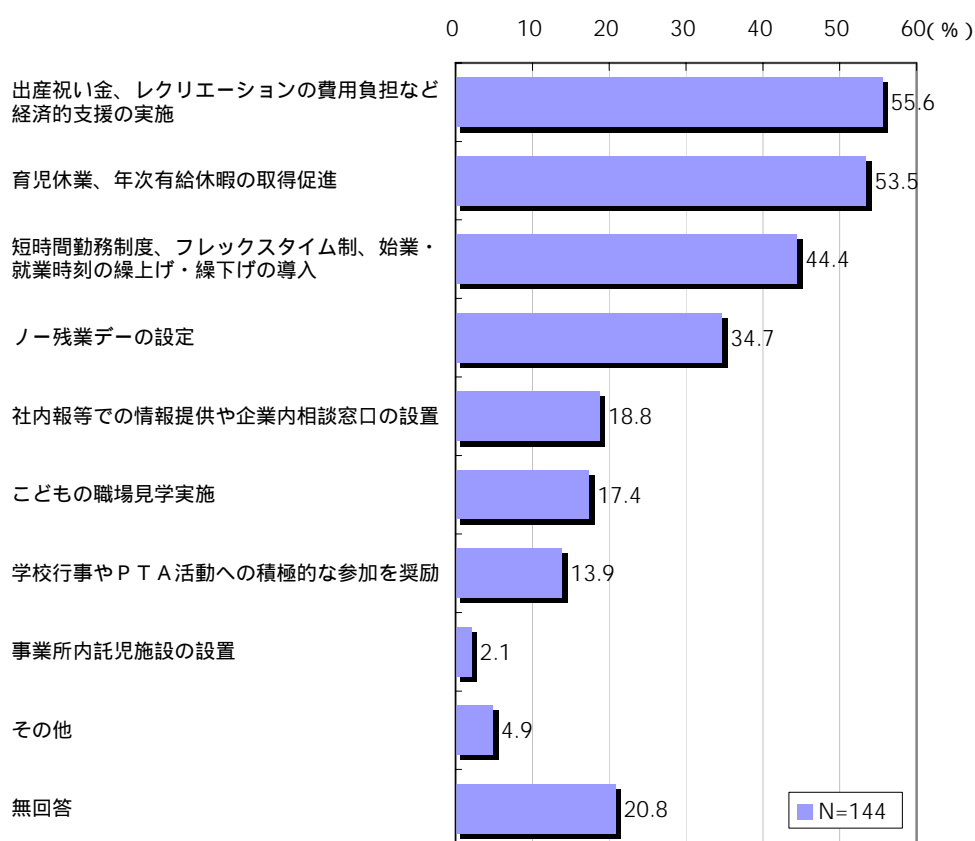
- (1) グラフ中の「N (Number of case の略)」はその質問の該当者数を表しており、回答率 (%) は、そのNを基数として算出しました。
- (2) 集計結果は全て小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問は全ての比率を合計すると 100.0% を超えることがあります。

アンケート調査結果

1 従業員に対する仕事と家庭の両立支援

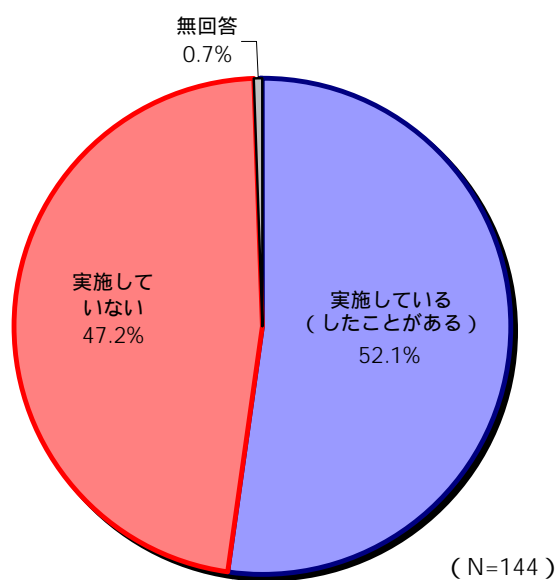
従業員に対する取り組みについては、「出産祝い金、レクリエーションの費用負担など経済的支援の実施」と回答した事業所が 55.6%と最も多く、「育児休業、年次有給休暇の取得促進」(53.5%)についても半数以上の事業所で実施しています。

次いで、「短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・就業時刻の繰上げ・繰下げの導入」(44.4%)、「ノー残業デーの設定」(34.7%)の順となっており、経済的支援や休暇取得や時間短縮などの勤務形態への配慮などを実施している事業所が多くなっています。



2 地域貢献活動の実施有無

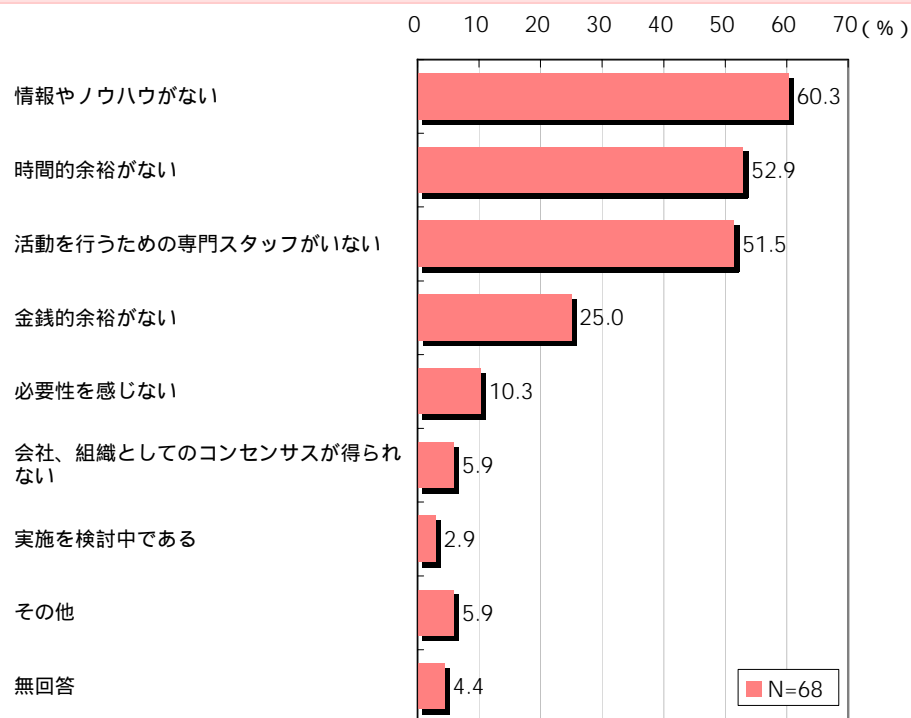
地域貢献活動の実施については、半数以上の事業所で「実施している(したことがある)」と回答しており、「実施していない」(47.2%)を4.9ポイント上回る結果となっています。



【2で「実施していない」と回答した事業所のみ】

3(1) 実施していない理由

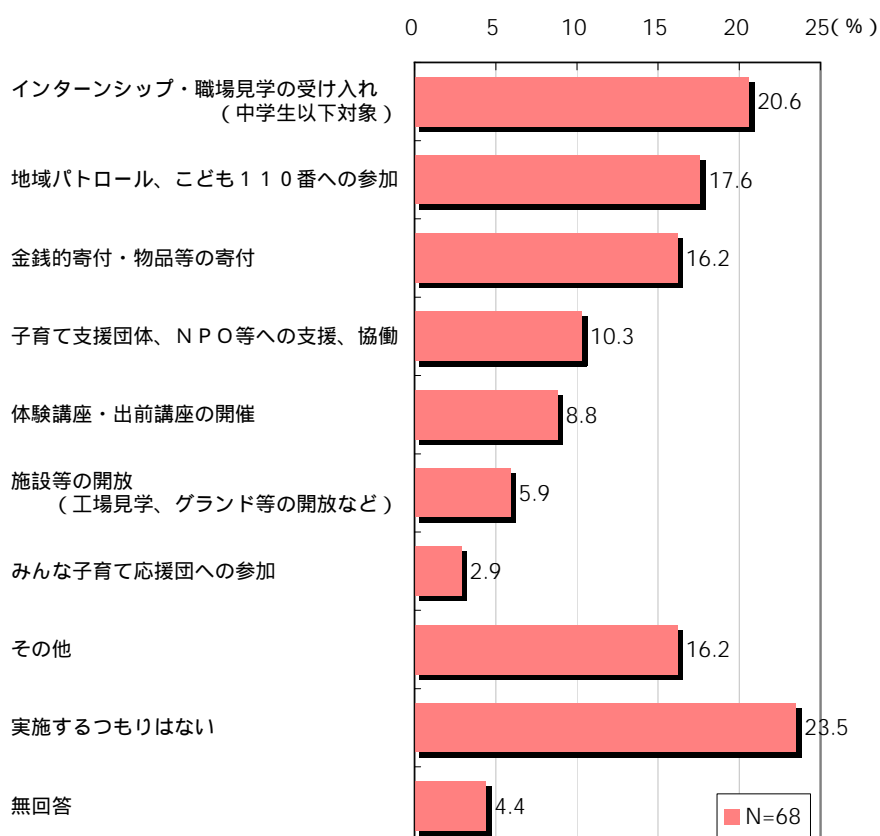
地域貢献活動未実施の事業所の実施していない理由については、「情報やノウハウがない」と回答した事業所が約6割を占め最も多く、次いで「時間的余裕がない」(52.9%)、「活動を行うための専門スタッフがいらない」(51.5%)が半数以上の回答となっており、実施したくても実施できない事業所が多いことが分かります。



3(2) 実施してもよいと考える地域貢献活動内容

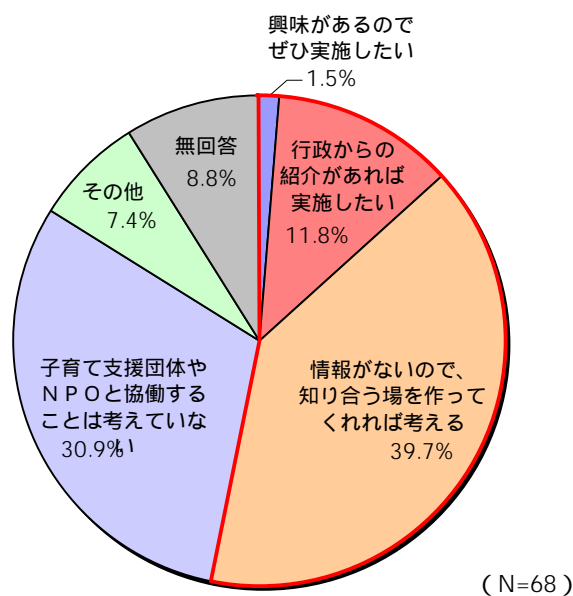
地域貢献活動未実施の事業所の今後の実施については、「実施するつもりはない」が最も多い回答となっています。

実施してもよいと考える内容については、「インターンシップ・職場見学の受け入れ」と回答した事業所が20.6%と多く、次いで「地域パトロール、こども110番への参加」(17.6%)、「金銭的寄付・物品等の寄付」(16.2%)の順となっています。



3 (3) 地域の子育て支援団体やN P Oとの協働について

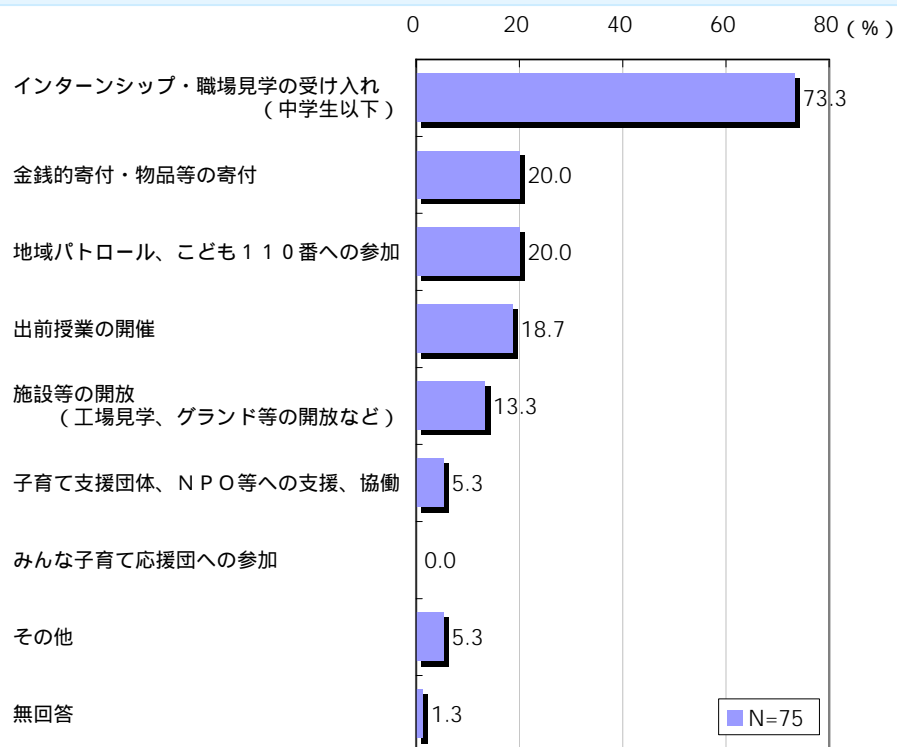
地域貢献活動未実施の事業所の、地域の子育て支援団体やN P Oとの協働による実施については、「情報がないので、知り合う場を作ってくれれば考える」が約4割を占め最も多く、「行政からの紹介があれば実施したい」(11.8%)、「興味があるのでぜひ実施したい」(1.5%)と合わせると、半数以上の事業所が協働での実施に前向きな回答をしています。



【2で「実施している」と回答した事業所のみ】

4(1) 実施内容

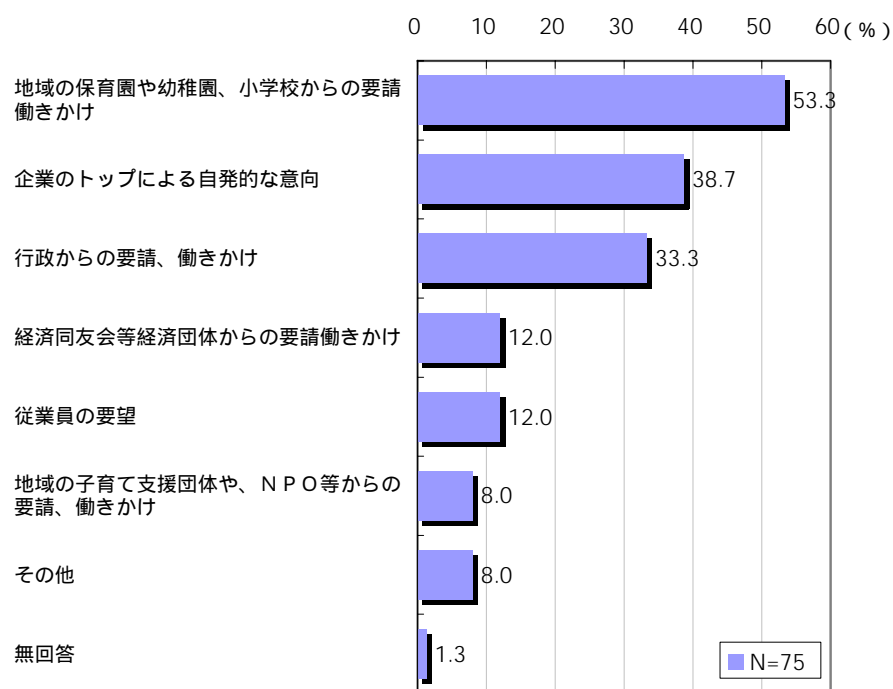
地域貢献活動実施事業所の実施内容については、「インターンシップ・職場見学の受け入れ」が大半を占め最も多く、次いで「金銭的寄付・物品等の寄付」および「地域パトロール、こども110番への参加」(20.0%)、「出前授業の開催」(18.7%)の順となっており、未実施事業所が実施してもよいと考える内容の順とほぼ一致した回答となっています。



4 (2) 実施のきっかけ

地域貢献活動実施事業所の実施するきっかけについては、「地域の保育園や幼稚園、小学校からの要請・働きかけ」が半数以上を最も多く、インターンシップや職場見学の実施が多いことも関係していると考えられます。

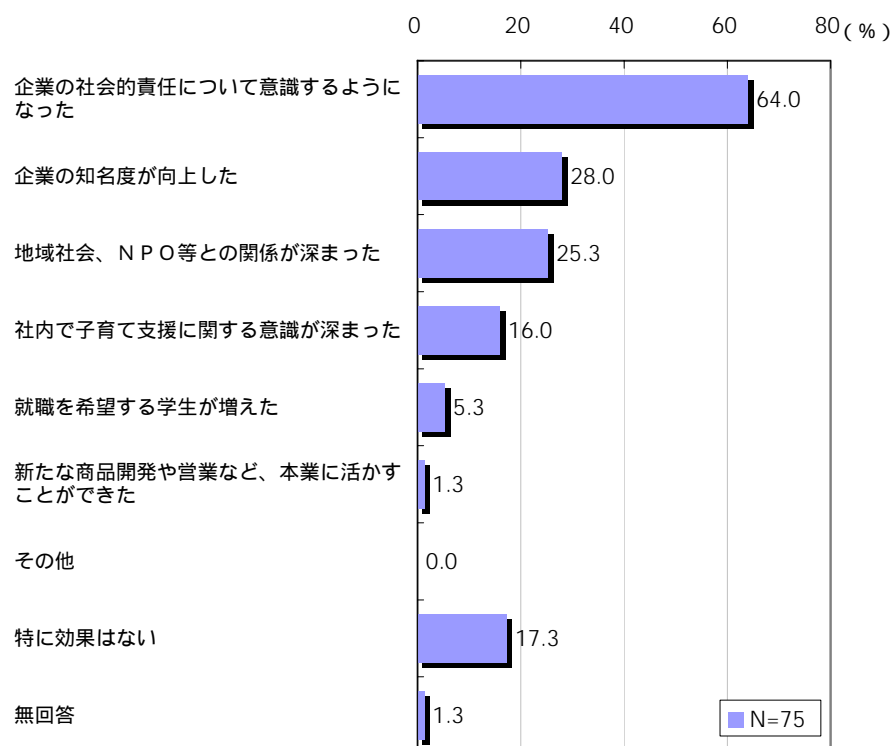
次いで「企業のトップによる自発的な意向」(38.7%)、「行政からの要請・働きかけ」(33.3%)の順となっており、学校や行政からの直接の働きかけによって実施している事業所が多いことが分かります。



4(3) 実施の効果

地域貢献活動実施事業所の実施効果については、「企業の社会的責任について意識するようになった」が大半を占め最も多く、社員への意識啓発への効果があったと回答した事業所が多くなっています。

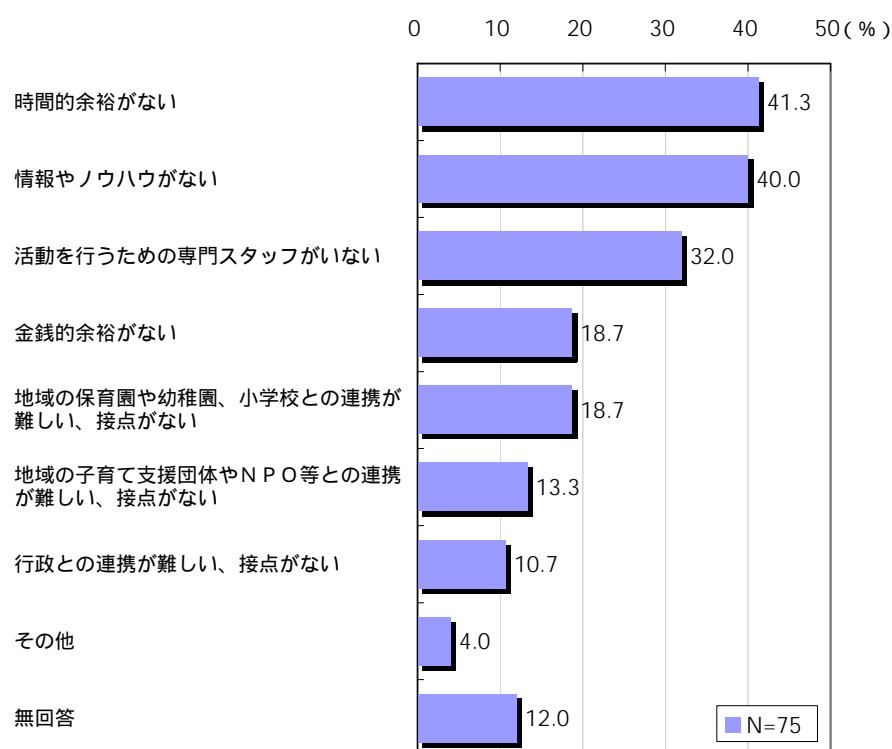
次いで「企業の知名度が向上した」(28.0%)、「地域社会、NPO等との関係が深まった」(25.3%)の順となっています。



4(4) 実施の問題点

地域貢献活動実施事業所の実施問題点については、「時間的余裕がない」、「情報やノウハウがない」が4割以上を占め多く、次いで「活動を行うための専門スタッフがない」(32.0%)の順となっており、未実施事業所が実施していない理由として回答した順とほぼ一致した回答となっています。

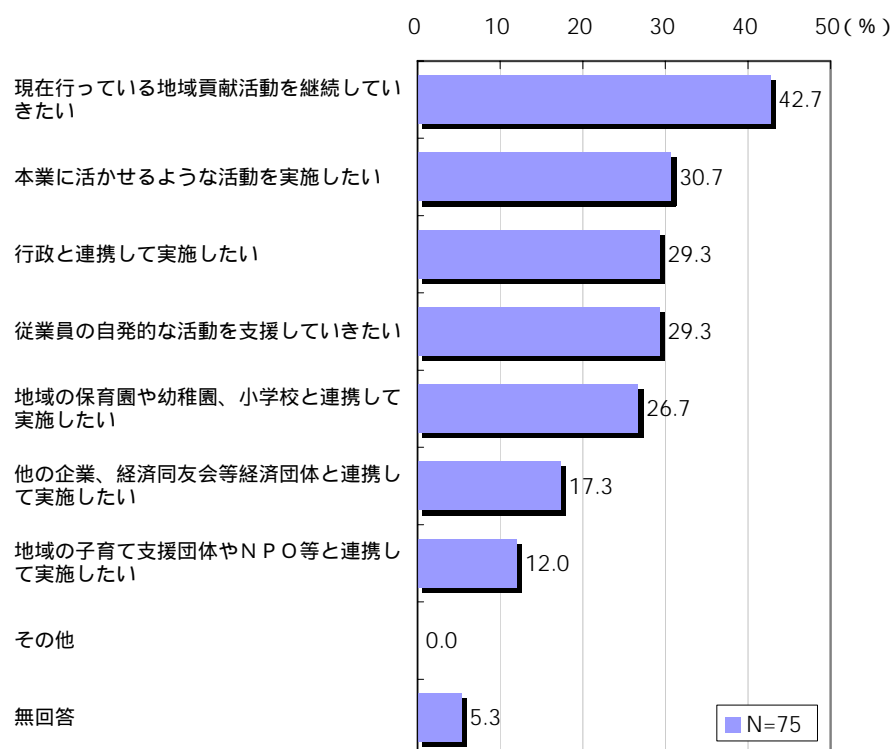
また、「行政との連携が難しい、接点がない」の回答が約1割であるのに対し、「地域の保育園や幼稚園、小学校との連携が難しい、接点がない」が2割近くを占め、学校との連携に難しさを感じている事業所が多い結果となっています。



4(5) 今後の方向性

地域貢献活動実施事業所の今後の方向性については、「現在行っている地域貢献活動を継続していきたい」が42.7%と最も多く、現在実施している地域貢献活動の継続を考えている事業所が多くなっています。

次いで「本業に活かせるような活動を実施したい」(30.7%)、「行政と連携して実施したい」および「従業員の自発的な活動を支援していきたい」(29.3%)、「地域の保育園や幼稚園、小学校と連携して実施したい」(26.7%)の順となっており、行政や学校など地域との一層の連携を望む事業所が多くなっています。



5 地域貢献活動に対する意見

地域貢献活動に対する自由意見については、地域貢献活動の必要性を感じている事業所が多く、業務に支障の無い範囲で、できることを実施したいという意見が多く見られました。

また、そのための情報提供や活動要請（働きかけ・声かけ）実施している事業所の公表・PRなどを求める意見も多くありました。

【具体的な意見内容】

業務以外の事柄に意識が殆どない。

地域の子供達に集会等の場所を貸したりしても良いと思うが、子供達の横の繋がり等が見えない。どの家の子供もかも分からない。などラジオ体操を子供だけでなく大人も老人も集まって、地域と交れる事ができたら良いと思う。

子育てはこれからの社会に関わる大事な事なので、できることがあれば手伝いたいと思う（仕事に支障のないことが前提）。

待機児童をなくし、母親の就業を積極的に支援するような設備・制度の充実を図り、家計と税の収入増を実現させることが大事だと思う。

地域貢献については、様々な手法があると思うので、それぞれ多様な内容で良いと思う。

積極的に展開している企業の表彰、公示等をして頂きたい。

定期的な情報提供を希望します。

子育て支援もいいが、親の教育を大いに必要だと感じている。

地元小学校(本町小学校)の3年生を中心に毎年校外学習(工場見学)に協力しています。取り組む担任の先生の熱意により内容に多少の変化があります。

本件の必要性、重要性は理解しています。今後生きる限り、地域貢献活動を実施したいと考えています。

CSRの一環として、地域貢献活動に積極的に参加しています。子育て支援についても「かがわこどもの駅」の認定申請手続きをしています。今後とも子育て支援に対し積極的に取り組みしていきたい。情報等の提供をお願いしたい。

企業も地域の一員として、専門のスタッフがいなくてもできること、安心安全に繋がる事に取り組んでいければと考えます。地域や自治体と協力し、コミュニケーションをとって活動ができればと思います。

今後も子育て支援を続けていきたいと思います。

こどもSOS以外でも建設業として支援できることがあれば活動したいと考えています。仕事の閑散期を利用し、金銭的にあまり負担のかからない方法など、活動の情報や要請があれば検討することができると思います。

仕事の内容上、インターン企業見学のようなことはできません。ただ女性の従業員さんには、支障のない限り遠足やPTAの参加も自由にさせていただいており、その点は喜んで頂いていると認識しています。

高額な費用がかかったり、専門スタッフを要する活動は難しいが、それ以外ならできる事から協力していきたいと考えています。

C S Rの観点から必要と考えます。企業としてできることがあれば検討したいと考えていますので、情報提供をお願い致します。

「子育て支援」とはどういうことをすれば良いのか具体的にお聞かせ頂ければ、当社の事業範囲内で可能なことであれば協力します。

子育て平等は過分である。行政は環境整備まで、世の中は差別があるのが当然なので個人に深入りすべきでない。常識的に冷静であるべき。生活保護は申し出により、認定すれば良い。親は甘やかしの凡調が見られる。子育て支援は社会的弱い子どもが育つ。

高校生を対象とした職場見学は実施した実績があります。

広島市での出前授業の実績・経験をもとに、高松市でも出前授業を行えたらと考えています。

市長との懇親の場で出前授業を提言し、実現に向けて動いた経験があります。今回のアンケートで我々にできることは何かを再度考える機会を頂きました。

地元企業として子育て支援にかかわらず、地域貢献活動に取り組んでいきたいと思っています。情報、要望等ありましたら、お声かけ下さい。

「子育て支援に関わる地域貢献活動」は、もっと社会的な認知度を高めていく必要があると思います。

社内的には就業規則の整備、それらの積極的な活用等の推進は図っているが、社外に対する活動については、時間的・金銭的余裕がないのが実情である。

可能な限り地域社会と連携して、取り組んでいきたいと考えています。

全社対応としては当社でも取り組んでいますが、地域貢献活動を積極的に進める為には法の整備が必要不可欠です。

今日、少子化は大きな社会問題であり、一家庭だけでなく社会全体で子どもを大切に育てていく必要がある。企業としても前向きに取り組んでいきたいと考える。

ヒアリング調査結果 調査実施順での掲載

1 株式会社スワニー

平成 23 年 3 月 10 日（木）

（ 1 ）地域貢献活動の内容およびきっかけ

地域の小学校・中学校・高校からの依頼を受けた 20～30 人の職場見学を年間 3 回、実施しています。内容としては簡単なお手伝いではありますが、子どもたちには“仕事”の苦労を知る良いきっかけとなっています。

また、香川大学工学部の学生 3 名程度のインターンシップの受け入れを年間 1 回、実施しています。

実施のきっかけは会社からの PR ではなく、地元の学校や行政からの要請によるものが多いです。

（ 2 ）地域貢献活動の効果

地元の小学生や中学生を受け入れることにより、地域との連携が深まったと考えます。

従業員に対しても、外部からの受け入れの活動をみせることで“開かれた会社”であることを周知することができています。また、受け入れた小学生や中学生からのお礼などにより、従業員のモチベーションアップが図られており、社風・雰囲気向上しています。

（ 3 ）地域貢献活動の問題点

地域貢献活動の専門部署の設置や人員の配置があるわけではなく、通常の業務をしながら活動をしているため、時間的な余裕が無いのが現状です。

（ 4 ）今後について

現在の活動を継続して実施していきたいと考えています。回数増や人数増などの充実は体制的に難しいですが、地域との連携や従業員へのモチベーション向上を考えると、継続的な実施の必要性を感じています。



2 総合警備保障株式会社 高松支社

平成 23 年 3 月 10 日 (木)

(1) 地域貢献活動の内容およびきっかけ

小学校からの依頼を受け、「ALSOK あんしん教室」を月 1 回程度、実施しています。子どもの発達段階に合わせ実施内容を変え、体験を通じて子どもたちには防犯を意識してもらうきっかけとなっています。

実施のきっかけは会社の HP からのお問合せや申込みによるものや、総合警備保障が警備をしている小学校等への働きかけによる実施も行っています。

全国の総合警備保障株式会社で実施していることから、マニュアルを作成し、全国での事業内容のレベルや質の統一を図っています。



(2) 地域貢献活動の効果

子どもたちが「防犯意識」を持つきっかけとなっています。

また、出前授業の講師役も従業員が行っていることから、講師となった従業員には準備作業を含め、業務外での仕事増などの負担をかけることとなりますが、実施後には仕事に対する誇りやモチベーションの向上が見られます。



(3) 地域貢献活動の問題点

「あんしん教室」へのお申込みは多数いただいているのですが、専門部署や人員の配置があるわけではなく、通常の業務をしながら行っていることから、限られた人や限られた時間の中で、お申込み全てへの対応ができていない現状があります。

(4) 今後について

内容や質の向上を図り、全国の総合警備保障株式会社で同じレベルでの活動ができるよう、今後もマイナーチェンジを繰り返しながら実施していきたいと思っております。

3 株式会社マキタ

平成 23 年 3 月 11 日 (金)

(1) 地域貢献活動の内容およびきっかけ

地元の高専や大学の学生を対象に夏休み期間中の 1 週間程度のインターンシップの受け入れ、小学生・中学生を対象にした職場見学などを実施しています。

出前授業として、地元の小学校や工業高校、高専などを対象に年間 4 回程度、実施しています。地元への認知につながるとともに、将来の就業分野に対する認知の拡大につながっています。2010 年は船の祭典があったことから、小学校高学年より希望者を募り、大学から先生を招いた授業などを実施しました。

また、地元の高校にグラウンドの開放を行っています。



(2) 地域貢献活動の効果

一般市民になじみのない仕事であり、また仕事内容や製品を伝える場が少なかったため、地域における認知が低いと感じていたのですが、出前授業や職場見学を実施することによって、地元との連携が深まり地域への認知が高まるとともに、子どもたちや工業高校や高専などの専門分野の学生がこの仕事に興味を持つきっかけとなっていると考えます。

また、出前授業で招いた大学の先生との連携を図ることにより、海事学を専門に学ぶ学生への会社の PR をすることが可能となりました。

(3) 地域貢献活動の問題点

行政や他事業所と連携して、船の祭典のようなイベントに参加したり、依頼を受けて実施したりすることはできますが、地域貢献活動専門のスタッフがいるわけではないので、主体として、単独で実施していくのは難しいのが現状です。

(4) 今後について

会社の仕事内容が目に見えて分かる出前授業や職場体験は今後も継続して実施していきたいと考えています。また、従業員の家族も含め、親子・家族で見学できるような活動の実施も考えています。

4 四変テック株式会社

平成 23 年 3 月 17 日 (木)

(1) 地域貢献活動の内容およびきっかけ

中学生を対象にした夏休み期間中の 1 週間程度のインターンシップ(職場体験・見学)の受け入れ、小学生を対象にした親子見学会などを実施しています。

実施のきっかけは学校からの要請によるものが多いのですが、子どもの頃からの理科(電気)への興味を持つきっかけとなっています。



(2) 地域貢献活動の効果

地元の小学生や中学生を受け入れることにより、地域との連携が深まったと考えます。

また、一般的にはなじみのない仕事であることから、地元の子どもたちに仕事内容に興味を持ってもらうきっかけとなっています。実際、小さい時に職場見学に来たという学生が採用試験を受けに来たという例もありました。受け入れた小学生や中学生からのお礼や感想などにより、従業員のモチベーションアップが図られています。

(3) 地域貢献活動の問題点

地域貢献活動の広報担当のような専門スタッフがいるわけではないので、職場見学での説明などではそれぞれの業務担当者をお願いしなければなりません。通常の業務をしながらになりますので、優先順位をつけていくと、地域貢献活動はどうしても後ろになってしまうのが現状です。

(4) 今後について

小さい時に職場見学に来たという学生が採用試験を受けに来たという例もあったことから、長期的に考え、良い人材を集めるという観点からも、現在の活動を継続して実施していきたいと考えています。

地域社会とのつながりを深めていくとともに、行政との連携などがより図られると活動がしやすくなると思います。

5 有限会社エーワンセキュリティーサービス

平成 23 年 3 月 23 日 (水)

(1) 地域貢献活動の内容およびきっかけ

不審者情報について、地域のネットワークやブログなどのインターネットに発信することにより、地域への情報発信を行っています。また、防犯教室や講演会などを年間 3 回程度実施しています。

実施のきっかけは地域からの要請によるものが多いのですが、防犯対策への周知や防犯意識を持つきっかけとなっています。

(2) 地域貢献活動の効果

地域との連携が深まったとともに、会社の知名度の向上にもつながっており、企業の目的にも一致することから、本業に活かすこともできています。

また、イベント等をきっかけに地域の NPO などとの連携を図ることができ、さらなる活動への広がりを持つことができました。

(3) 地域貢献活動の問題点

地域や地元、NPO 等との連携は深めることはできていますが、行政との連携を図ることが難しく、学校・保育所・幼稚園単位となると、防犯カメラの設置等のハード面でのつながりはあるものの、出前授業などのソフト面実施ができていないのが現状です。

(4) 今後について

企業の目的にも一致することから、本業に活かせるような活動を継続して実施していきたいと考えます。

また、地域の子育て支援団体や NPO 等との連携を深めるとともに、保育所や幼稚園、小学校との連携を図り、より地域に密着した活動を行っていきたいと考えます。